



大阪湾 YEARS2012-2013 キックオフ「大阪湾セミナー」
「そうだったのか！意外と知らない大阪湾のあらたな実像」

大阪府立環境農林水産総合研究所・生態系工学研究会・大阪市立自然史博物館 共催

日 時 2012年6月24日（日）13:00～17:00

場 所 大阪市立自然史博物館講堂（定員 250名）

企画者 有山啓之・日下部敬之（大阪府立環境農林水産総合研究所），
矢持 進（生態系工学研究会），山西良平（大阪市立自然史博物館）

企画の趣旨

2004年3月に大阪湾再生推進会議により策定され、十ヵ年計画で開始された大阪湾再生行動計画も、2013年がその最終年となります。これまでの8年間、大阪湾再生水質一斉調査、大阪湾生き物一斉調査、大阪湾フォーラムをはじめとする新たな取り組みが多様な主体の連携と創意・工夫によって展開され、大阪湾再生に対する人々の関心が広がりつつあります。また、生き物の生息環境の保全を目指すためのあらたな環境指標として底層水の酸素濃度が提唱されるなど、大阪湾再生に向けた多くの具体的提言もなされてきています。私たちは、これらの取り組みや活動を継承・発展させるべく、大阪湾再生行動計画終了前年にあたる2012年および終了年の2013年の2ヶ年に、市民、学識者、研究者、教育者、水族館・博物館関係者、企業人ならびに大阪湾再生推進会議メンバーが協働し、「茅渟の海」大阪湾の生き物や環境についてシンポジウム、ワークショップ、勉強会ほかさまざまな活動を連帯して行うことを考えました。本共同セミナーは、その「大阪湾 Years 2012-2013」の第一弾として、地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所、一般社団法人生態系工学研究会、大阪市立自然史博物館が共同で開催するものです。

大阪湾には、最近の研究で明らかになった意外な事実や、近年の社会情勢や環境の変化によってかつての一般的イメージとは大きく異なってきた現象など、知られていない側面が多くあります。本セミナーは、そのような大阪湾の知られざる現状を紹介し、参加された方々に大阪湾のあらたなイメージを作っていただくことをねらいとして企画しました。活発な意見および情報交換をお願いいたします。



プログラム

13:00-13:05 開会の挨拶

有山啓之 (大阪府立環境農林水産総合研究所 総括研究員 センター長)

13:05-13:10 企画の趣旨説明

矢持 進 (生態系工学研究会副会長, 大阪市立大学大学院工学研究科)

13:10-15:50 : 話題提供

13:10-13:40 : 知ってびっくり! 大阪湾の海岸生物の多様性

山西 良平 (大阪市立自然史博物館)

13:40-14:10 : 超! 高級魚「あこう」 魚庭 (なにわ) で増殖中

辻村 浩隆 (大阪府立環境農林水産総合研究所 水産研究部)

14:10-14:40 : 大阪湾の栄養状態によって獲れる魚が変わる!?

中嶋 昌紀 (大阪府立環境農林水産総合研究所 水産研究部)

休憩 (10分)

14:50-15:20 : 大阪湾域のエコロジカルフットプリント～環境と経済の話

入江 政安 (生態系工学研究会, 大阪大学大学院工学研究科)

15:20-15:50 : 海からの恵みを増やすー海産バイオマスの有効利用ー

中谷 直樹 (生態系工学研究会, 大阪府立大学大学院工学研究科)

15:55-16:55

意見交換・総合討論 (発表者+進行役)

進行役:

大塚耕司 (生態系工学研究会, 大阪府立大学大学院工学研究科)

日下部敬之 (生態系工学研究会, 大阪府立環境農林水産総合研究所)

16:55-17:00 閉会の挨拶 上嶋 英機 (生態系工学研究会会長, 広島工業大学 工学部)